

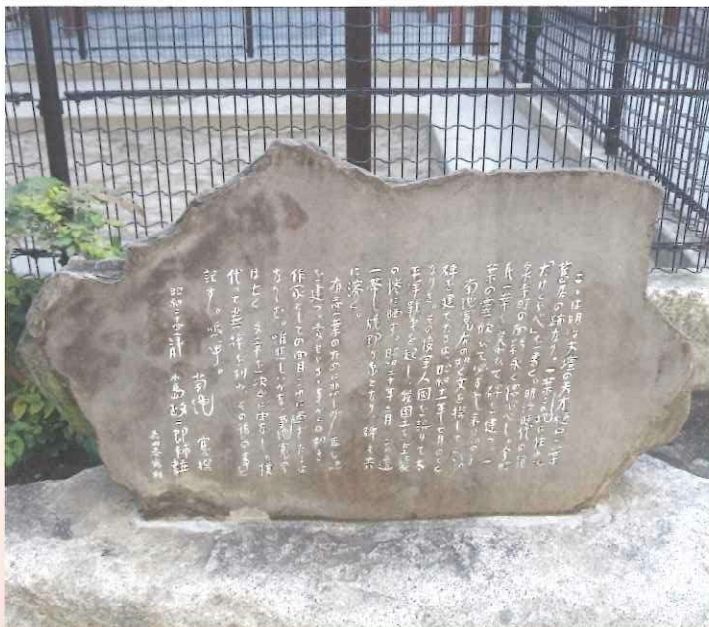
〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



平成31年
4月号

暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



フォトデータ

台東区立一葉記念館
東京都台東区竜泉3丁目18番4号

今では5千円札で有名になった樋口一葉ですが、17歳で父を亡くし、一家を支えるために小説家として執筆活動に汗を流されました。代表作である「たけくらべ」は龍泉寺町での商人としての生活体験が大きな影響を与えたとされ、吉原が舞台となった作品となっています。24歳という若さでこの世を去りました。

記念館の前には公園があり、その傍らには菊池寛、小島政二郎による樋口一葉を讃える石碑が建っています。

開館時間:午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)

休館日:毎週月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)

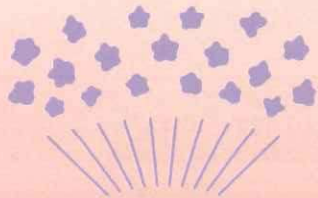
入館料:大人300円、団体(20名以上)200円

小中高生100円、団体(20名以上)50円

問い合わせ:03-3873-0004

ホームページ:

www.taitocity.net/zaidan/ichiyo/



4月の山門の言葉

さなぎ 蛹が終末と感ずる瞬間を 蝶は始まりと感ずる



えこおファイル在庫あります。

ようやく春らしい気候となり、なんとなく胸が躍る。自然界でも、動物や虫、野花も同じように春の訪れを喜んでいるかもしれない。

私たちの生活に於いていえば、四月には入学式や入社式があちこちで開かれ、どこか新鮮で明るい雰囲気を感じられてくる。

そういう意味では、私たちは「春」が訪れることで、何かが始まっていくような季節だと感じているのかもしれない。言わば「始まりの季節」としても受け入れてるように思う。しかし、今年の三月で四十歳を迎えた私からすると、入学式といっても二十数年前のことであり、毎年春を迎えていても、当時の新鮮さがなくことに気づかされる。

そこには、これまで積み重ねてきた経験や知識によって、仕事や人間関係、日常生活そのものを過ごしてきた在り方が大きく関わることで、新入生や新入社員のような新鮮さが出てこないのだと感ずる。一言でいえば「熟れてきた」という言葉で収まつてしまう。

極端かもしれないが、私たちがこれまで生きてきたことに對しても、同じ事が言えるように思う。

気が付けば四十歳を迎え、熟すだけの四十年間を送ってきた。そして、そのような中でも、様々な不安や悩みを抱えながら、それでも生きざるを得ない人生を頂戴している。

そこに「生きるとは？」と問いが生まれてこないだろうか。この問いこそが新鮮さを生み出す源であり、偶々頂戴した我が身に目を向けさせて下さる仏様のはたらきだと感ずる。自分自身で作ら上げた殻を破り、「生きる」ことを本当に尋ねさせていただく歩みを、仏様から願われたところに、人として生を受けた大事な意味があると感じる。

あつという間に過ぎ去る時間に、我が身を問い尋ねる人生の始まりを、今も与えられているのではないだろうか。

(大橋 伊知郎 記)



私は
こう聞いた!!

3月に掲げた山門の言葉
「先入観は可能を不可能にする」
を皆さんはどう聞いたのか、
お尋ねしました。

その時の状況や環境によって、
可能になったり不可能になったり
するのではないかと思います。
(70代 女性)



先入観はいろいろな思考に壁
を作ります。今は自由な世界です。
先入観に囚われず、すべてにおいて
大いに羽ばたいてください。

(64歳 男性)



今回は台東区竜泉にある、大正時代から続く老舗商店、染木商店さんへ行ってきました。三代目社長の染木幸雄さんは、昔から伝わる棺桶作りも手がけておられ、現在では東京で個人商店として唯一の棺桶職人として、名を馳せておられます。そんな染木さんにあまり知られていない棺桶ができるまでを伺って来ました。



鋭い眼差しで語られる染木社長

竜泉で独自に棺桶を制作している老舗商店「染木商店」



木の種類によって組み合わせるための溝を作ります。2枚組、3枚組、5枚組と呼ぶそうです。



釘穴を隠すために端材を使って全ての釘穴を埋めます。



底板をあわせて釘で固定します。



何度もカンナを調整しながらの作業です。染木さんの目つきも真剣そのもの。



全ての板を合わせたら最後にカンナをかけます。これで棺桶の出来が左右される大事な作業です。



底板のはみ出た部分を調整します。



山崎もカンナ体験。中学以来のカンナにてこずっていました。



年季の入った大事な商売道具。



杉の木は反り返りやすいので防止するために溝が彫ってあります。

木材は木曾にある原木屋さんから取り寄せています。木材の種類は主にスギ、ヒノキ、モミと3種類だそうです。同じ木材でも板目、^{まきめ}柾目と加工の仕方にも2種類あります。染木商店オリジナルの棺桶は、各葬儀社から注文を受けることもあるそうです。ちなみに四代目は現在修行中!!

染木商店

東京都台東区竜泉 1-22-6
TEL 03-3873-4207



法語カレンダー 四月

眞実の信心は必ず名号を具す

この言葉は「名号は必ずしも願力の信心を具せざるなり」と続く。

真夜中、目を覚ました我が子。隣にいるはずの母親が居ない。大号泣で「おかあさん！」と叫ぶと、慌てて母親が走ってきた。その叫びは母親を呼びつける道具ではない。不安の中で身体から溢れ出す叫び声を母親が受け取ったのだ。

母を求める心が声となって吹き出した。お念仏も同じだということだろう。「何回称えれば救われるの……?」「心がこもってない声は何回言っても響かない。身の内から湧き上がる「ひとこえ」が響くのではないだろうか。それにしてもそういうとき父親はなす術がない……。」

(山崎 哲記)

眞実の信心は

かならず 名号を具す

True and real entrusting to Amida is unfailingly accompanied by saying the Name.

語句説明 entrust: 人に(金銭, 命などを)預ける
unfailingly: 確かに, 果てしなく
accompany: 人に同行する



年間の墓地管理料・維持会費のご納入をお願いします。

仏具磨き報告

三月六日(水)、恒例の仏具磨きを行いました。今回初参加が六人の、総勢二十名の参加をいただきました。薬品漬け↓すすぎ↓水気取り↓専用クロスにての磨き作業とそれぞれ分担していただき、段取りよく作業することができました。昼食は、これも恒例となった西徳寺カレーをいただき、終始和やかで楽しい時間となりました。綺麗になったお荘厳で彼岸をむかえることができました。誠にありがとうございました。

(蓮井 邦宗記)



城南ブロック会報告

2月17日、目黒さつきビルに於いて第99回城南ブロック間法会を開催いたしました。(25名参加。内、初参加3名)をいただき、皆で「凡夫」について考えました。平凡な人という意味ではなく、一生懸命生きているその有り様そのものが、凡夫であることを学びました。懇親会も会員同士の交流が深まり、有意義な中にお開きとなりました。

次回は記念すべき100回大会。5月19日(日)14:00より西徳寺本堂にて開催いたします!親鸞聖人のご生涯を取りあげますので、是非、城南以外の方々もご参加ください! (山崎 哲 記)



城東ブロック会報告

「死は残された者を生かす力である。死は生かす力、死が力である。願いをかける力がある。」大谷顧問より『正信偈』の言葉を通して、熱い言葉をいただきました。

次回は6月16日(日)14時より人形町・香港美食園にて開催予定です。ご参加をお待ちしています。(高橋 淳 記)



初参加の方よりご挨拶をいただきました



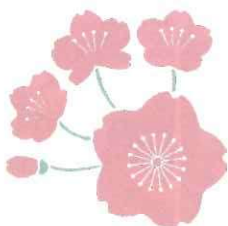
今回は本八幡 うえだ別館にて開催

えこお志お礼

新潟県 梵行寺 様

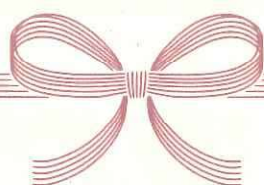
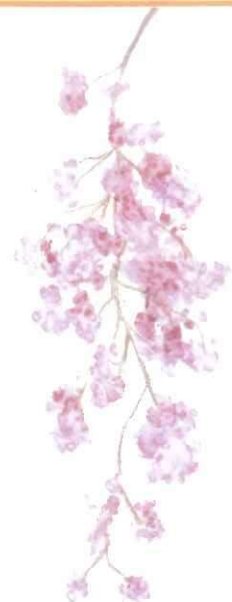
ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。

ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



今月の予定

- 5日(金) 午後4時 総代会
- 6日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
- 10日(水) 午後2時 第5回 燈虹塾
- 13日(土) 午後6時 同行会総会 法話 脇阪住職
- 16日(火) 午後1時半 『歎異抄』に聞く 講師 宗正元師
午後7時 仏教青年会総会
- 17日(水) 午前11時 婦人会総会
- 20日(土) 午後1時半 定例聞法会
- 21日(日) 午後2時 中央ブロック会総会・聞法会 (湯島天神・梅香殿)
- 27日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習



Relation ~縁~

Relation: 関係、関連、結びつき

編集担当挨拶

今年度「えこお」の編集を担当することになりました。前担当者が西徳寺の活動や職員紹介など寺の内側を、皆さんに知っていただけるように掲載しておりました。それを更に広げて、西徳寺のある地域を「えこお」編集を通して紹介すると共に、私自身もお寺を取り巻くさまざまな関係性を学んでいきたいと思ひます。「えこお」を読んでくださる皆さんに、興味をもってもらえるように、読者のおこえに耳を傾けながら記事作りに励みたいと思ひますので、よろしくお願ひします!!

(蓮井 邦宗)

今年度、蓮井君と「えこお」を担当させていただきます。編集や取材を楽しみたいとおもっております。皆様のご意見ご感想お待ちしております!

(山崎 哲)



えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook